

令和 8 年 10 月 13 日

(栗田中学校)【認知症サポーター養成講座】 街で困っている高齢の方を見かけたらどうしますか

～認知症を正しく理解し、認知症の方とその家族を見守る応援者として～

栗田中学校 1 年生が総合的な学習の時間として認知症サポーター養成講座を受講します。

先日、高齢者疑似体験を行い、個人差はあるものの、誰もが経験するであろう加齢変化としての体の不自由さといった身体機能の低下などを疑似的に身をもって体感しました。今回は、認知症について基本的なことを学び、わがこととして考え、自分たちにできることを考えます。当日の取材についてよろしくお願いいたします。

日 時

令和 8 年 10 月 14 日（水）10：40～12：30

場 所

宮津市立栗田中学校 1 年生教室：〒626-0074 京都府宮津市字上司 1525

内 容

・参加生徒等（1 年生 13 名）

講 師

・社会福祉法人よつば会
特別養護老人ホーム夕風の里 高橋洋平様

【担当者のコメント】

今回の講座を通して、認知症の症状や特徴について学び、認知症は誰にでも起こり得る身近なものであることを理解しつつ、認知症の人が感じている不安や困りごとについて考え、相手の立場に立って物事を考える力を育んでほしいと思っています。

また、相手に寄り添った関わり方を身につけ、安心できる声かけや接し方について考えたり実践したりすることを通して、普段の学校生活の場面でも積極的に取り入れていってほしいと考えています。

お問い合わせ先

宮津市立栗田中学校 教頭 森本 真太郎 TEL：0772-25-0023